



とびだせ！はばだけ！

# みえふくっ子

～みえの次代を担う福祉系人材の育成～

マイスター・ハイスクール普及促進事業  
三重県 令和6年度成果報告

# 発表内容

①三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の概要

②取組内容の紹介

- ・明野高校
- ・みえ夢学園高校
- ・伊賀白鳳高校
- ・朝明高校
- ・4校で連携した取組

③来年度の展望【三重県全体】



# ①ー1三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の概要

福祉に関する学習ができる高校 13校

(介護職員初任者研修実施校)

その内4校が福祉系高等学校(介護福祉士を養成)

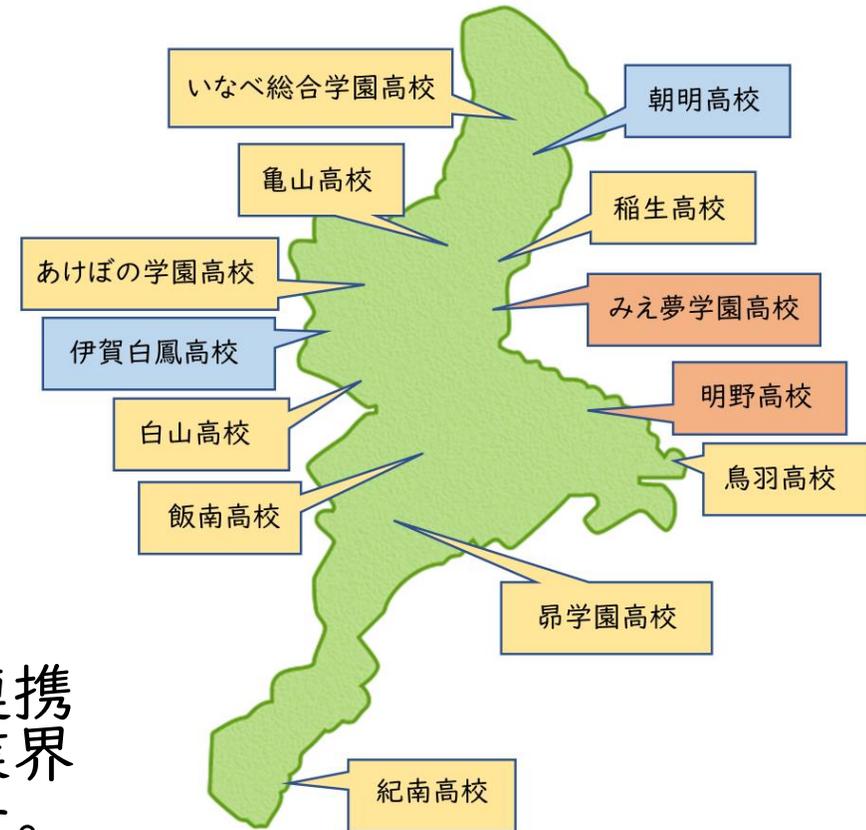
福祉系高等学校である

明野高校 みえ夢学園高校 朝明高校 伊賀白鳳高校で  
マイスター・ハイスクール普及促進事業を実施

介護福祉士養成に係る施設実習、保育園や小中学校等と連携した交流活動、医療、福祉、介護分野の専門家招聘など、産業界等と連携した学習活動を、それぞれの学校で実施していました。



様々な変化を前向きかつ柔軟に受け止め、課題を自ら設定し、習得した知識・技術を相互に関連付けながら、多様な他者と協働して新たな価値を生み出していくことが求められている。



課題解決能力

# ①-2三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の概要

管理機関（三重県教育委員会）学校（三重県立明野高等学校、三重県立みえ夢学園高校） 令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業（連携体制強化型）

## とびだせ！はばたけ！みえふくっ子！～みえの次代を担う福祉系人材の育成～



### 【各機関の役割】

#### 拠点校

本事業の中心となって産業界、福祉系高等学校の連携体制を構築し、成果を地域や他の福祉を学ぶ高校に発信する。

#### 連携校

拠点校と連携して事業に取り組むとともに、各学校の課題に応じた取組を実施する。

#### 三重県教育委員会

事業目的を達成するため拠点校と連携校の取組状況を把握し、指導助言する。

#### 事業運営委員会

意思決定機関として福祉系高等学校の課題を把握し、産業界等との連携体制の在り方について検討する。

#### 事業推進委員会

事業運営委員会の決定に基づき事業計画を具現化する。

# ①-3三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の概要

## 目標

- ・産業界と福祉系高等学校が連携し、広い視野を持ち柔軟な考え方と実践力を身に付けた福祉人材を育成する。
- ・多様な人々と交流する機会を設け、協働して課題を解決する能力を育成するとともに、福祉の魅力を地域に発信する。

## 三重県・福祉系高等学校の課題

### 【福祉系高等学校】

- ・課題発見・課題解決型学習の充実
- ・高度な技術や最先端の福祉機器、介護ロボット等に関する学習の充実
- ・志願者数の減少

### 【自治体】

- ・福祉系人材を育成するための連携体制の構築
- ・介護人材の不足
- ・福祉の魅力発信

## めざす姿

### 【福祉系高等学校】

- ・自ら課題を設定し、合理的かつ創造的に解決する力と、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けた福祉系人材の育成

### 【自治体】

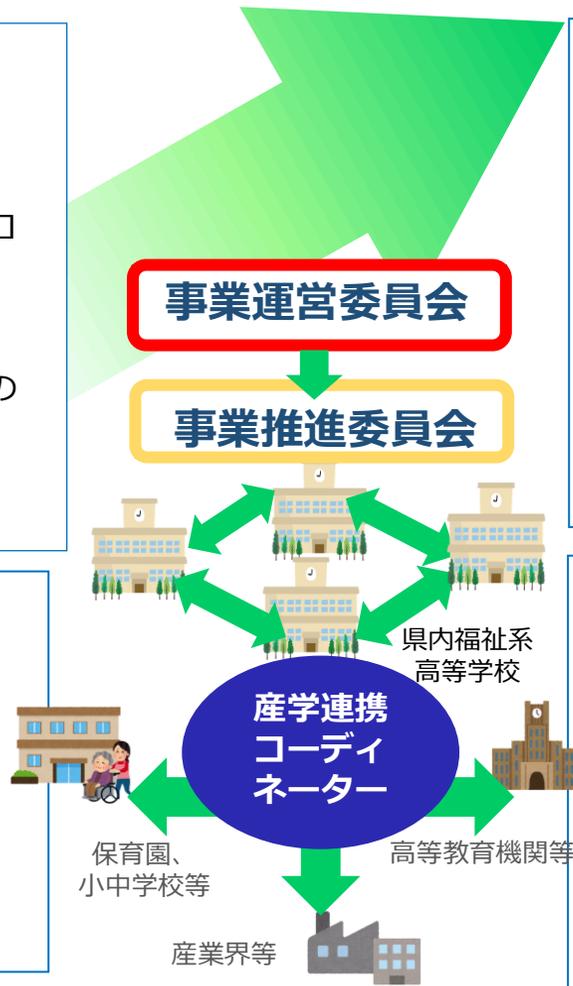
- ・福祉系人材を育成するための産業界と福祉系高等学校との継続的な連携体制の構築
- ・福祉系人材の安定的な確保

## 実施内容（1年目）

- ・産業界、高等教育機関との連携体制の在り方について検証
- ・生徒の課題発見、課題解決能力を育成するための教育プログラムを産業界や高等教育機関と連携して開発
- ・県内の福祉を学ぶ生徒同士の交流会の実施

## 実施内容（2年目）

- ・産業界、高等教育機関との連携体制の構築
- ・産業界と連携した課題解決型学習の実施と改善
- ・県内外福祉系高等学校との交流や成果発表の実施
- ・地域交流等による福祉教育の魅力発信



# 三重県のマイスターハイスクール普及促進事業でめざす力

拠点校  
みえ夢学園高校

大学教授・介護施設職員・高校教員協働による  
教材開発

課題解決能力

拠点校  
明野高校

福祉利用者との  
交流を通して

連携校  
朝明高校  
伊賀白鳳高校

地域との交流を  
通して

# 効果測定ツールの導入

3つのステップでICT活用授業の教育効果がわかる！

## ICT × 学びアンケート

業界初・思考力 & 表現力を測定！

# EduPath

思考力や表現力を測定

非認知能力の測定



4校の福祉を学ぶ生徒が7月頃に実施。

# 発表内容

①三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の概要

②取組内容の紹介

- ・明野高校
- ・みえ夢学園高校
- ・伊賀白鳳高校
- ・朝明高校
- ・4校で連携した取組

③来年度の展望【三重県全体】





# 明野高校の特徴

生産科学科・食品科学科・生活教養科

福祉科40名 2コース制

社会福祉コース

- ・・・ 介護だけでなく保育や障がい等、幅広い福祉を学ぶ。

介護福祉コース

- ・・・ 介護を中心に福祉を深く学び、介護福祉士国家試験受験資格が取得できる。



# 明野高校 ～福祉利用者さんとの関りを通して～

- 令和6年度

福祉利用者さんとの関りを通して、地域や福祉利用者さんのニーズを把握、課題を発見する。

- 令和7年度

生徒主体で、発見した課題の解決に向けた取組を行う。

# 明野高校の取り組み（R6年度）

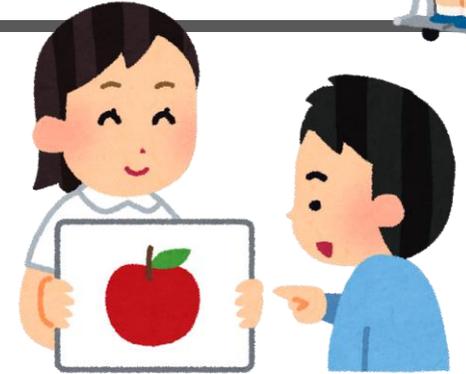
高齢者



障がい



福祉科の生徒が  
自分の興味のある  
カテゴリーを選択!



子ども



# 明野高校の取り組み ～関わる～

## 高齢者

協力機関: 社会福祉協議会

- ・文化祭に地域の高齢者を招待



- ・近隣の保育園が明野高校に遠足

## 子ども

協力機関: 保育園



## 障がい

協力機関: 作業所

- ・文化祭に知的障がい者の作業所が出店



# 明野高校の取り組み ～発信する～

## 高齢者

- ・ケータイ電話スマホ教室



## 障がい

- ・小学校への障がいについての出前授業



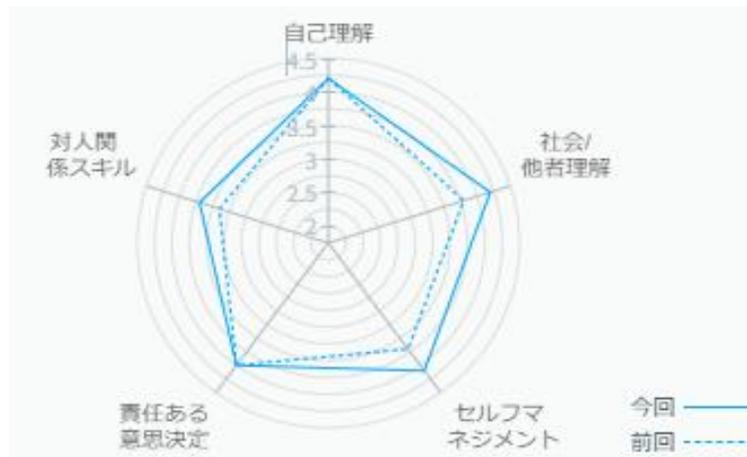
## 子ども



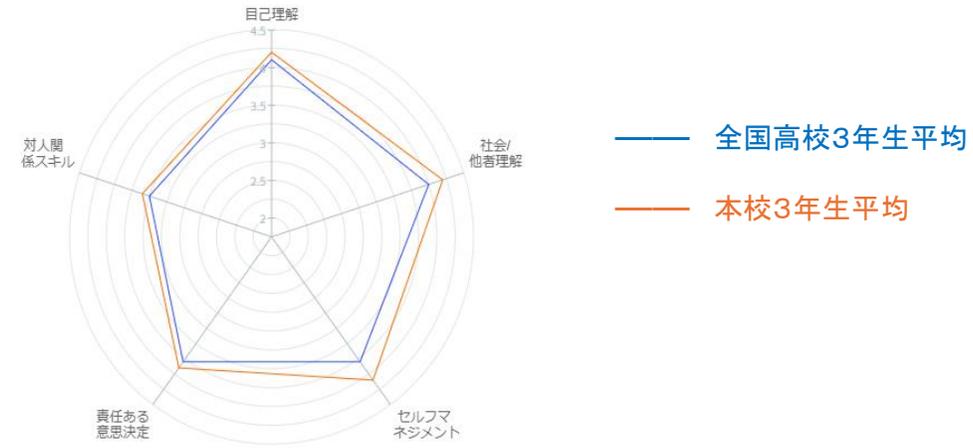
- ・校内にて子ども食堂の実施  
(8月台風で中止・12月)

# 明野高校 成果

- コースの隔たりをなくし活動に取り組むことで、多様な見方考え方が共有でき、福祉科全体として「他者に対して共感する力（社会/他者理解）」「自分自身の目標に対して計画を立て実行し、修正する力（セルフマネジメント）」が育まれていることが評価ツールEduPathの結果から読み取ることができる。
- また生徒の振り返りからは、地域や福祉利用者さんのために自分は何かできるのか考える姿勢が生まれていることが読み取ることができた。



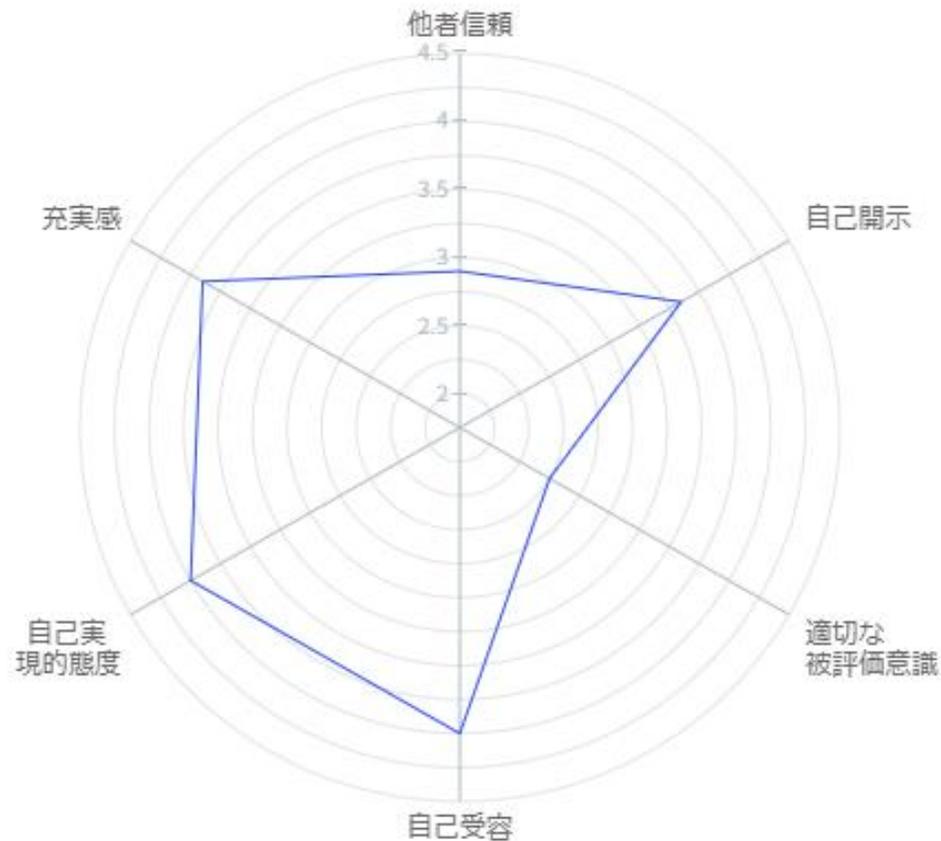
<自校の取り組み前と後の変化>



<全国の高校3年生との比較>

# 明野高校 課題

- 適切な被評価意識が他の評価指数に比べて低い傾向にある。被評価意識とは他者から評価されることを恐れていないかどうかを表す指数である。今後、自校の取り組み内容を他校生徒に発表し意見をもらう活動等を取り入れ、被評価意識が向上するか検証したい。





# みえ夢学園高校の特徴

- 定時制 総合学科



生徒の希望に応じて、介護職員初任者研修と  
介護福祉士国家試験の受験資格取得を  
選択することができる。

# みえ夢学園高校～介護の実践力を育む～

## •令和6年度

介護の実践力を育む教育内容を産業界と高校教員が協働で検討・実施し、効果を検証する。

## •令和7年度

生徒が令和6年度に受講した教育内容を参考に、自ら作成・後輩や他校生徒に実施し、効果を検証する。

\*産業界の方にはその様子を踏まえて指導助言をしていただく。



# みえ夢学園高校①-2 「コミュニケーションがとれる」ことは、既存の定義や福祉の科目とどのように位置づいているのか

介護福祉士に関する定義等や既存の科目**コミュニケーション技術**と「コミュニケーションがとれる（何気ない会話ができる）」ことが、どのように位置づいているのか確認したところ、各定義やコミュニケーション技術の土台になっていることがわかった。

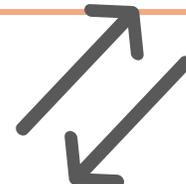
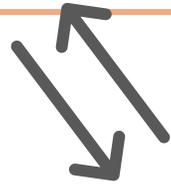
以上のことから、**コミュニケーションがとれる（何気ない会話ができる）**ことを、**介護の実践力**とした。

## 福祉実践

コミュニケーション技術

既存の介護福祉士等の定義

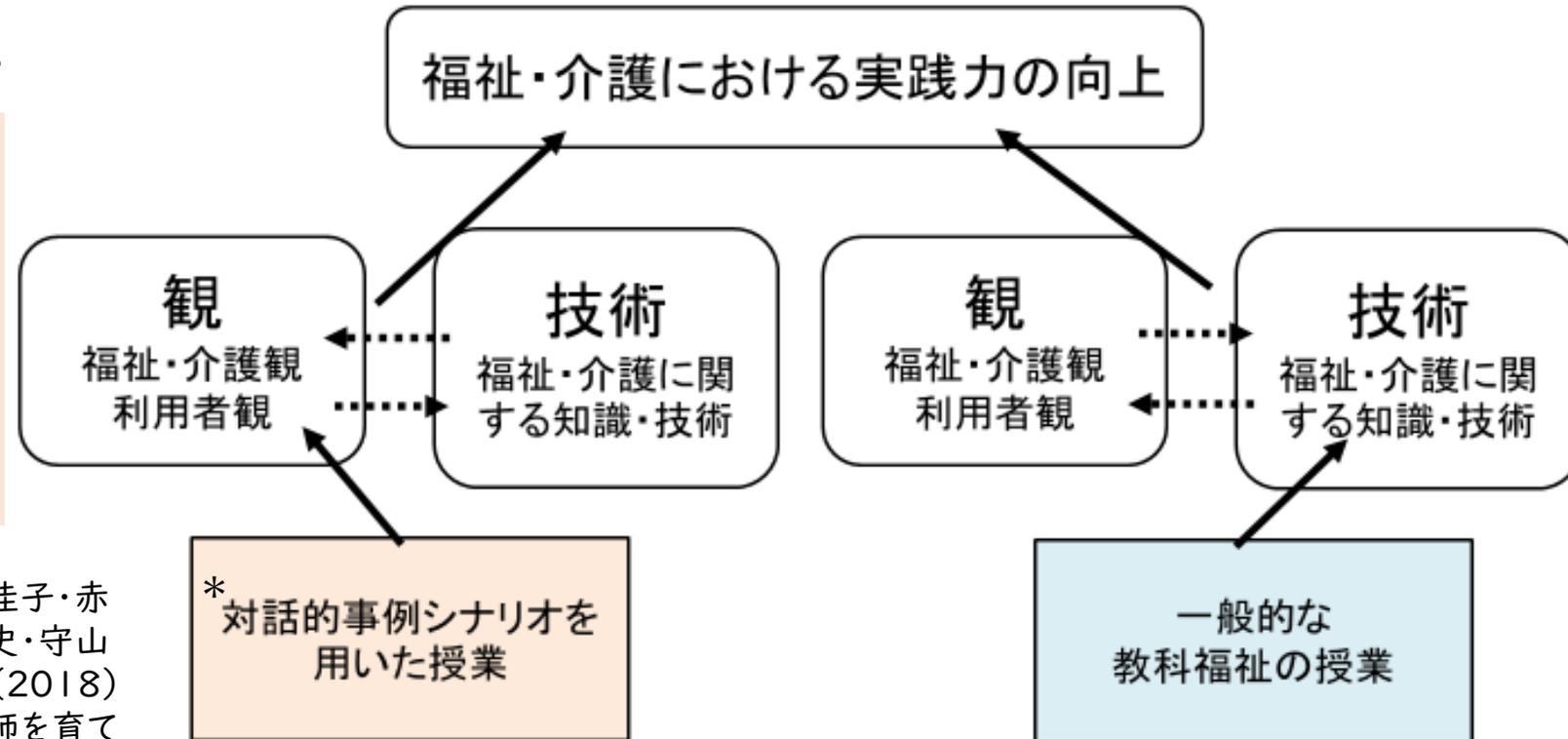
コミュニケーションがとれる  
(何気ない会話ができる)



# みえ夢学園高校①ー3 コミュニケーションがとれるようになる、教育方法を検討する

実践力を観と技術（知識も含む）と捉えた場合、一般的な授業は技術から働きかけるものが多い。しかし、コミュニケーションがとれることとは、生徒一人ひとりによってそのあり方が異なるものである。そこで各々が自らのコミュニケーションのあり方を構築していく、つまり、コミュニケーションに対する見方・考え方である観を広げ・深めていく必要があり、観に働きかけ教育方法が適しているのではないかと考えた。

\* 山田康彦ほか（2018）が考案したPBL教育。問題の所在を明らかにしたり、観の自覚化・相対化・変容が目的



参考文献  
山田康彦・森脇健夫・根津知佳子・赤木和重・中西康雅・大日方真史・守山紗弥加・前原祐樹・大西宏明(2018)『PBL事例シナリオ教育で教師を育てる—教育的事象の深い理解をめざした対話的教育方法—』三恵社

\* 森脇健夫（2011）「授業研究方法論の系譜と今後の展望」田中耕治・森脇健夫・徳岡慶一『授業づくりと学びの構造』学文社p.40 p.80を援用し発表者が作成

# みえ夢学園高校②授業の実施とその成果

写真①



この写真を見てあなたが気になったこととその理由を2つ書いてください。

生徒は、自分が大切にしているものを自覚化することができ、自信を持って行動へ移そうという意識が芽生えていた。自分や他者が大切にしているものを相対化(共有)することで、コミュニケーションをとる際の様々な方法を身につける機会にもなっていることがわかった。

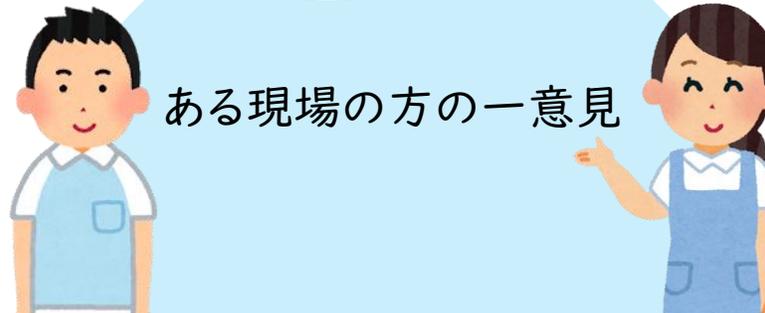
生徒の意見  
(気づいたことや考えたこと)



写真を撮影した施設より  
写真にある背景の説明



ある現場の方の一意見



# みえ夢学園高校の課題

- 本授業を受講したことで、生徒は**実際の現場でコミュニケーションがとれるようになったのか**について、どのように明らかにしていくのか、ということがある。この課題への追求方法として現時点で考えられるものとして、コミュニケーションに関する質問をする方法がある。例えば、受講後の介護実習を終えた後に、以前の実習に比べコミュニケーションがとりやすくなったのか、以前と同じようなコミュニケーションに関する困りごとはあったのか・なかったのか、仮になかった場合は、なぜなかったのかなどについて、質問し、それに対し自由記述形式で生徒が回答するという方法がある。
- また来年度は生徒が実際に写真を撮り、授業内容を考え、後輩や他校生徒に実施することを予定しており、その効果の検証方法も考えていきたい。



# 伊賀白鳳高校の特徴と取組

平成21年4月に開校した三重県で初めての総合専門高校

伊賀地域の3つの専門高校(上野工業高校・上野農業高校・上野商業高校)が集結し、**工業科・農業科・商業科・福祉科**の**4分野11コースを設置**

地域と企業との協働による新しい人材育成システム(伊賀版デュアルシステム)を導入し、職業人として、社会で活躍できる人材を育成

**福祉科**は「**ヒューマンサービス科**」という名称で、「生活福祉コース」、「介護福祉コース」の**2コース設置**



## 世代間交流

伊賀市健康福祉部の協力を得て

- ①未就学児を対象としたからだ育て体操の見学
- ②生徒によるパネルシアターの実施
- ③保護者の方との意見交流 を実施

現在子育てに奮闘してみえる方の貴重な意見を伺い、今後子育て環境の整備のため、解決策を考え、伊賀市に提言することを検討中。

## ふくしみんなde学び隊

伊賀市社会福祉協議会の協力を得て

- ①アイスブレイクとレクリエーション
- ②災害時の食事づくり
- ③災害時のサバイバルアイテムづくり
- ④あなたならどうするクロスロードゲーム
- ⑤ユニバーサルデザイン

の5回の授業で福祉全般について、体験・実習を交えながら学ぶ。



## 小学校への出前授業

社会福祉協議会や警察、小学校の協力を得て

- ①福祉用具（上野東小学校4年生）
- ②赤い羽根共同募金（久米小学校3・4年生）
- ③防災（久米小学校5・6年生）
- ④防犯（上野東小学校1年生）
- ⑤認知症理解（上野西小学校4年生）

の5項目について、これまで学んだことを小学生向けにアウトプットする。



# 朝明高校の特徴と取組

普通科・ふくし科の2つの学科を設置  
普通科では2年生から、上級学校への進学をめざす「チャレンジコース」、就職を意識した「ビジネスコース」、ラグビー・自転車・レスリングのスポーツ選手を目指す「アスリートコース」の3コースから選択  
ふくし科では2年生から「介護福祉コース」と「生涯福祉コース」の2コースから選択

平成21年度介護福祉士養成校として認定される。



## 介護ロボット体験授業

みえ介護生産性向上支援センター、  
医療法人富田浜病院の協力を得て

- ①介護ロボットの機器説明
- ②介護ロボットの体験 を実施

排泄支援「ヘルプパッド」、移乗支援「HUG」、見守りコミュニケーション「aams」の3種の機器について、目的、使用方法等を聞いた後、実際に体験し、介護現場の生産性向上について学ぶ。

## 地域活動へのボランティア参加

### 1 放課後デイサービス結友夏祭り

発達に障がいのある子どもとの交流を通して、様々な障がいについて理解する。

### 2 よってこcafe

地域コミュニティグループ「よってこ保々」のイベントと地域食堂に参加し、地域づくりを学ぶ。

### 3 保々地区敬老慰安会

保々地区連合自治会が主催する米寿の方の慰安会に参加し、地域との交流を深める。



## 地域との交流

### 1 保々の自然に親しむ会

活動内容・活動目的についての講話を聞き、地域福祉団体の活動を知る。

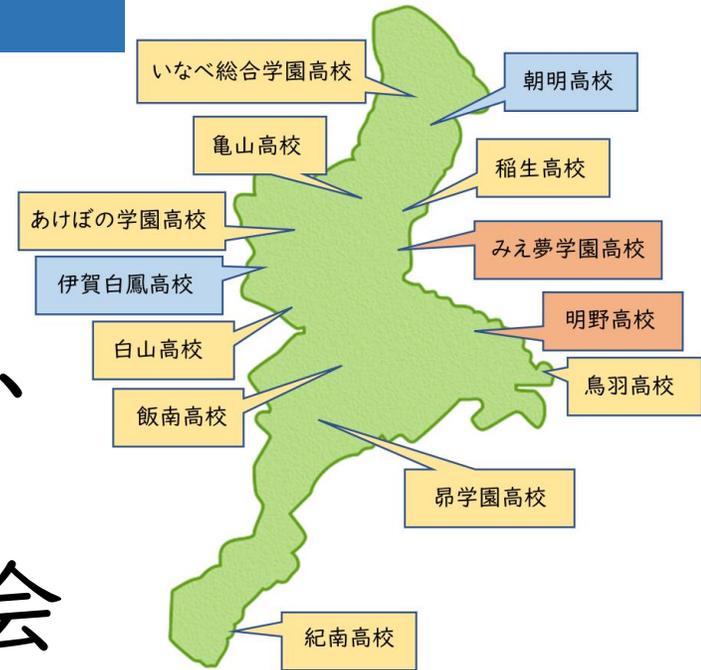
### 2 聖十字保々在宅介護ディサービスセンター

ディサービスを利用する高齢者と交流することで、在宅介護や高齢者に関する現状と課題を知る。

福祉関連団体と交流することで地域福祉に関心を持ち、地域課題の発見と協働による課題解決につなげる

# 4校で連携した取組

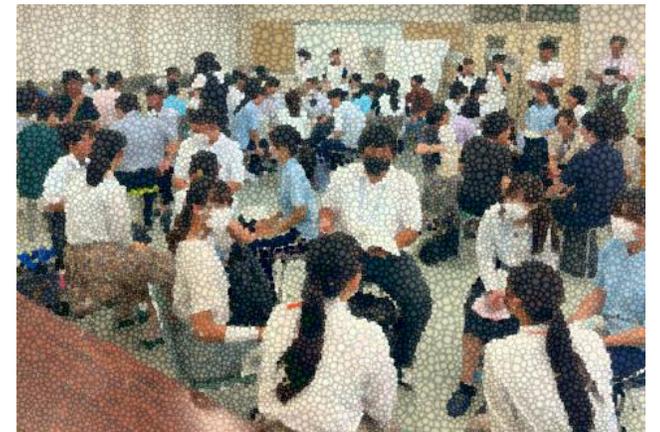
福祉を学ぶ高校生がつながることで、対話が生まれ、自校や他校の現状を知り、これから自分はどうのように福祉や介護に携わっていききたいか等について考える機会（課題発見・解決）になる。また、高校生が考える福祉の魅力発信のきっかけづくりとすることもねらいとした。



# 生徒交流会

明野高校に、4校の生徒、福祉を学ぶ高校生、施設職員の方、福祉科の卒業生が集まって交流会を実施しました。

自分の学校や福祉の良さ・強みについて出し合い、共有しました。



# 三重県立高等学校産業教育フェア

一般の方に高校生が考える福祉の魅力を発信しました。



第34回

三重県立高等学校産業教育フェア

福祉部会

高校生

ふくし



第34回

三重県立高等学校産業教育フェア

福祉部会

①ポップカード作り

②プチ介護体験



ざいりょうをくみあわせてつくってあそぼう♪  
ハロウィンのじゅんぴをしよう♪

高校生が福祉を勉強しています。保育や介護を勉強して、保育士や介護福祉士を目指しています。今日はその学びの一部を皆様にご披露いたします。是非遊びに来てくださいね♪

こまっているひとをたすけるぎじゅつをまなぼう。ともだち・かそくのヒーローになれるかも♪

福祉の強みを



# 学校間情報交換会・合同施設見学

伊賀白鳳高校ヒューマン  
サービス科2,3年生と  
明野高校福祉科2年生が  
情報交換会を実施



伊賀白鳳高校生と明野高校生が  
伊賀市社会事業協会の施設を見学  
みえ夢学園高校と朝明高校は、  
オンラインで施設を見学



介護現場で実際に使われている  
ICT機器も体験!

# 4校で連携した取組の成果

実習や将来への  
意識の高まり

・先輩たちの経験談から、実習や就職活動で起こりうる困難や悩みを具体的に知ることができ、より実践的な準備ができるようになりました。

・交流を通じて、コミュニケーションの楽しさを学び、人見知りせずに話せるようになった。  
・仲間との意見交換や悩みを共有する中で、相手の立場を理解し、協力し合うことの大切さを学びました。

コミュニケーション  
能力の向上

仲間とのつながり  
と連帯感の醸成

・他校の生徒との交流を通じて、同じようで違う点を学び、楽しく勉強できた。  
・他校の生徒と交流することで、モチベーションが上がり、福祉の勉強に対する意欲が高まった。

# 4校で連携した取組の課題

- ・来年度は多様な学びを経験した生徒たちが交流することでさらなる効果が期待できるため、生徒たちの力を引き出す工夫や、さらに魅力を発信できる企画を検討していく必要がある。

→例：各校の学びを発表・共有する報告会

- ・複数の学校が一つのイベントに参加するため、計画的に行う必要がある。

→今年度中に来年度の合同イベントを企画し、年間計画に組み入れ、各校が見通しをもって参加できるようにする。

# 発表内容

①三重県でのマイスター・ハイスクール普及促進事業の概要

②取組内容の紹介

- ・明野高校
- ・みえ夢学園高校
- ・伊賀白鳳高校
- ・朝明高校
- ・4校で連携した取組

③来年度の展望【三重県全体】



# ③来年度の展望【三重県全体】

## ★深める

### 課題解決型学習をさらに充実

本年度の学習測定ツールを用いた検証を踏まえ各校の取組をさらに充実・発展させる。

## ★広げる

### 成果発表会の実施 取組内容の横展開

事業を実施している4校以外の福祉を学ぶ高校(9校)にも活動の成果を広げる。

## ★発信する

### 魅力発信の取組の充実

4校が連携して福祉の魅力を広く発信する。

産業界×教育による課題解決能力を育む  
教育内容の充実

令和7年度の成果報告を  
お楽しみに！



とびだせ！はばだけ！  
**みえふくっ子**  
～みえの次代を担う福祉系人材の育成～